

〈設備名称〉 フレーム/ファーネス高分解能
連続光源原子吸光分析装置

〈管理担当者〉 秋田大学
国際資源学教育研究センター 准教授 高崎康志

〈設備構成〉

名称	型番
1. フレーム/ファーネス高分解能連続光源原子吸光分析装置本体	AA700TG
2. MPE60ファーネスオートサンプラー	
4. 水素化物発生装置	HS60A



〈測定原理・その他の詳細〉

高輝度キセノンランプを光源とし、測定波長域は185nmから900nm. グラファイトファーネスの温度範囲は25℃～3000℃. グラファイトファーネス分析用のオートサンプラー装置(80サンプル)を備え、注入液数は最大5液以上、試薬調整機能、標準液自動調整機能、干渉抑制自動添加希釈・濃縮機能を有している. フレーム分析用のチャンバーはテフロン製で、オプションとして水素化物発生装置を有している.

〈使用料(税抜)〉 980円/時

〈設置場所〉

秋田大学
ベンチャーインキュベーションセンター 101研究室

〈使用例〉

試料組成定量分析(高濃度溶液等向け). レアメタルを含む廃棄物からの有用金属の回収において、高濃度溶液の定量分析を実施するのに使用.